

準備書の審査書(案)

No.		2	
発電所名(仮称)		(仮称)小田野沢Ⅱウインドファーム	
事業者名		株式会社ユーラスエネルギーホールディングス	
事業実施区域		青森県下北郡東通村小田野沢地区	
事業 特 性	事業の内容	風力発電所設置事業 ・風力発電所出力:16,000~42,000kW(2,000kW~3,000kW×8~14基) ・風力発電機の台数:8~14基 ・ブレード直径:80~100m ・ブレード中心高さ:80~90m	
	工事の内容	工事期間:試運転期間を含め26ヶ月 ・造成・基礎工事:20台/日程度 ・据付工事:15台/日程度 ・電気・計装工事:6台/日程度 ・工事車両:1日最大20台程度(主に作業員移動用) ・運搬車両:風力発電機1基あたりトレーラー9台程度	
地環 域境 特監 性視 ・計 環画、 境予 保測 全・ 措評 置価 ・ 結 果	大気	1. 現況	記載なし
		2. 保全	同上
		3. 監視	同上
		4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	同上
	騒音 (低周波音含む)	1. 現況	記載なし
		2. 保全	同上
		3. 監視	同上
		4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	同上
振動	1. 現況	記載なし	
	2. 保全	同上	
	3. 監視	同上	
	4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	同上	
	1. 現況	記載なし	
	2. 保全	同上	

水質	3. 監視	記載なし
	4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	同上
底質	1. 現況	記載なし
	2. 保全	同上
	3. 監視	同上
	4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	同上
地形・地質	1. 現況	対象事業実施区域及びその周辺における地形の状況は、小起伏山地（一切山山地）及び丘陵地（朝比奈平丘陵）が大部分を占めており、その東側に分布する砂礫台地、被覆砂丘等を経て太平洋へと至る。 対象事業実施区域及びその周辺における地質の状況は、南部の山岳地には泊安山岩類が広く分布しており、全体的に朝比奈岳、一切山及び冷水峠などの一帯は安山岩熔岩及び安山岩質集塊岩により構成されている。
	2. 保全	記載なし
	3. 監視	同上
	4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	同上
風車の影（シャドーフリッカー）	1. 現況	記載なし
	2. 保全	同上
	3. 監視	同上
	4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	同上

(猛禽類、バードストライク含む)
動物

<p>1. 現況</p>	<p><希少猛禽類> 文献その他の資料調査では、ミサゴ、ハチクマ、オジロワシ、オオワシ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、ケアシノスリ、クマタカ、イヌワシ、ハイロチュウヒ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、コチョウゲンボウ、チョウゲンボウの15種の希少猛禽類が確認されており、このうち、ミサゴ、ハチクマ、オジロワシ、オオワシ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、ハヤブサの8種と、文献その他の資料調査では確認されていないサシバを合わせた合計9種が現地調査においても確認されている。</p> <p><対象事業実施区域及びその周辺を営巣環境とする重要な種> 希少猛禽類以外の重要な鳥類のうち、繁殖期に対象事業実施区域及びその周辺に生息環境を持つ種としては、樹林内や林縁部に営巣する種としてオンドリ、ヤマドリ、アオバト、ジュウイチ、コノハズク、オオコノハズク、フクロウ、ヨタカ、アカショウビン、アリスイ、オオアカゲラ、サンショウクイ、アカモズ、カヤクグリ、コマドリ、マジロ、クロツグミ、サンコウチョウ、キバシリ、ノジコ、クロジ、イスカ、ホシガラスの23種、草地に営巣する種としてウズラ、オオジシギ、ゴジュリンの3種、水辺や湿地の草地に営巣する種としてクイナ、バン、ヤマシギ、オオジュリンの4種、河原や砂礫地に営巣するイカルチドリ、セグロセキレイの2種が挙げられる。このうち、ヤマドリ、オオジシギ、アオバト、フクロウ、ヨタカ、オオアカゲラ、セグロセキレイ、カヤクグリ、ノジコ、クロジ、イスカの11種は現地調査でも確認されている。</p> <p><越冬や渡りなどにより一時的に対象事業実施区域に出現する重要な種> 希少猛禽類以外の重要な種のうち、対象事業実施区域及びその周辺を越冬や渡りなどにより一時的に利用する種としては、チュウサギ、コクガン、マガン、ヒシクイ等の14種が挙げられる。このうち、現地調査では、シノリガモの1種が確認された。</p> <p><渡り鳥> 現地調査において、ガン・カモ・ハクチョウ類ではオオハクチョウの1種について、猛禽類ではオオタカ、ハイタカ、ノスリの3種について、その他の鳥類ではカワラヒワ、マヒワなど15種について、対象事業実施区域及びその周辺で渡りと考えられる個体が確認された。</p> <p><哺乳類> 重要な哺乳類としては、文献その他の資料調査においてフジホオヒゲコウモリ、ツキノワグマ、カモシカの3種が確認されており、うちツキノワグマ、カモシカについては現地調査においても確認されている。また、ムササビは現地調査のみの確認であった。</p> <p><両生類・爬虫類> 重要な両生類としては、文献その他の資料調査において、トウホクサンショウウオ、アカハライモリの2種が確認され、このうちトウホクサンショウウオは現地調査においても確認された。なお、重要な爬虫類としては、文献その他の資料調査、現地調査のいずれにおいても確認されなかった。</p> <p><昆虫> 重要な昆虫類としては、文献その他の資料調査においてカラカネイトトンボやスジボソヤマキチョウ、カワラハンミョウなどの43種が確認された。現地調査ではエゾゲンゴロウモドキ1種が確認された。</p>
<p>2. 保全</p>	<p>(a) 送電線の地下埋設 (b) ライトアップの抑制 (c) 樹木伐採の制限及び緑化 (d) 土砂流出防止策</p>
<p>3. 監視</p>	<p>記載なし</p>
<p>4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中</p>	<p>本事業においては、風力発電機の設置や搬入路の敷設に伴う改変面積が小さいこと、周辺には同様の環境が広がっていることなどから、事業の実施による動物の生息環境への影響は小さいと予測された。特に影響が懸念される鳥類の風力発電機への衝突に関しても、渡りルートが広範囲に分散していることや、定量的に算出した衝突率も低いことから、その頻度は少ないと予測されたが、不確実性が生じることから稼働後にバードストライクの有無を確認するための事後調査を実施する。 適切な環境保全措置の実施及びバードストライクの有無を確認するための事後調査を実施することにより、本事業に伴う動物に係る環境影響は事業者の実行可能な範囲内で低減されているものと評価される。</p>
<p>1. 現況</p>	<p>選定された重要な種のうち、文献その他の資料調査で確認された種は15種、現地調査で確認された種は3種であった。</p> <p>○ ヒロハノカワラサイコ 平成24年度調査では、対象事業実施区域内の牧草地内の風力発電機脇において、1株の生育が確認された。</p> <p>○ エビネ 対象事業実施区域内の樹林内において、2地点で計10株の生育が確認された。</p> <p>○ サルメンエビネ 対象事業実施区域内の樹林内において、19地点で計69株の生育が、対象事業実施区域外において21地点で計33株の生育が確認された。</p> <p>○ エビネ属の一種 対象事業実施区域外の樹林内において、6地点で計15株の生育が確認された。</p>

植物	2. 保全	(a)植生の早期回復 (b)樹木伐採の制限 (c)土砂流出防止対策 (d)立ち入り制限 (e)ゴミ処理の徹底
	3. 監視	記載なし
	4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	本事業においては、風力発電機の設置や搬入路の敷設に伴う変更面積が小さいこと、変更区域に該当する植生は周辺にも広く分布していること等から、事業の実施による植物相及び植生への影響は小さいものと予測された。 重要な種についても、現地調査で確認された3種のうち、エビネ、エビネ属の一種、ヒロハノカワラサイコについては、生育地が変更区域から離れている。サルメンエビネについては、生育地が変更区域に近いものの、変更は風力発電機の設置箇所及び一部の搬入路に限定されること、周辺にも同様の環境が広がっていることにより、生育個体、生育環境がわずかに減少する可能性があるものの、消失には至らないものと予測された。 さらに適切な環境保全措置を実施することにより、本事業に伴う植物に係る環境影響は事業者の実行可能な範囲内で回避・低減されているものと評価される。
生態系	1. 現況	記載なし
	2. 保全	同上
	3. 監視	同上
	4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	同上
景観	1. 現況	対象事業実施区域は、緑豊かな下北丘陵上に計画されている。 物見崎灯台は、対象事業実施区域の南南東、六ヶ所村との境界にある岬に建つ灯台であり、「ふるさと眺望点」にも指定される景勝地である。またトントウビレッジは、対象事業実施区域の東に位置するPR施設である。この2地点については、利用者の視点に立って、景観特性の変化を予測・評価することができる眺望点となっている。小田野沢地区は、対象事業実施区域の東北東に位置し、対象事業実施区域から最も近い居住地域であることから、生活者の視点に立って、景観特性の変化を予測・評価することに適した視点場となっている。
	2. 保全	新設する風力発電機の設置位置を居住地域から2.8km以上離隔する。
	3. 監視	記載なし
	4. 予測・評価	(a) 環境影響の回避、低減に係る評価 眺望点の位置により、数基から全基が視認されるものと予測された。 全基が視認される眺望点は距離が遠いこと、また周囲には既に稼働している風力発電機が存在することから、新たに設置する風力発電機が周囲から浮き立つような印象は与えにくいものと考えられる。さらに風力発電機の設置位置を居住地域から2.8km以上離隔したことにより、居住地域である眺望点からの視覚的違和感も小さいことが予測され、本事業に伴う景観に係る環境影響は事業者の実行可能な範囲内で低減されているものと評価される。 (b) 国又は地方公共団体による基準又は目標との整合性の検討 青森県においては、「青森県景観条例」に基づく「青森県景観計画」において大規模行為景観形成基準が定められている。 本事業においては風力発電機の外装は灰白色に塗装することとしており、周囲から浮き立つような印象は与えにくいものと考えられることから、基準に定める「周辺景観と調和する色彩への配慮」に整合するものと評価される。また、既設の風力発電機群が既に景観になじんでおり、本事業による風力発電機が既設の風力発電機群と連続して一体的な眺望を形成することから、基準に定める「自然景観と調和する規模及び形態意匠への配慮」「全体としてまとまりのある形態意匠」に整合するものと評価される。 本事業における風力発電機については、灰白色の外装により背景の空や雲になじみやすい色彩であること、細い柱状であること、一定の範囲内にまとまって視認されること、既設の風力発電機群と連続した眺望を形成することなどから、「環境と自然との共生」への配慮がなされているものと評価できる。

	触れ合いの活動の場	1. 現況	東通原子力発電所「トントウビレッジ」 東通原子力発電所のPR 施設で、発電所の概要やエネルギー、地域の特色について紹介している（「トントウ」はフィンランド語で森の妖精）。地域交流ホール、自然学習施設、ビオトープ、太平洋を望む展望室などがある。
		2. 保全	記載なし
		3. 監視	同上
		4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	同上
	廃棄物等	1. 現況	記載なし
		2. 保全	同上
		3. 監視	同上
		4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	同上
	その他 (教育・医療・福祉施設の配置状況、指定等環境保全地域区域指定状況、既設風力設置状況等)	1. 現況	「森林法」に基づく保安林の指定状況は、対象事業実施区域の一部が国有保安林(水源かん養)に指定されている。
		2. 保全	記載なし
		3. 監視	同上
		4. 予測・評価 ①工事中 ②供用中	同上
事後調査		鳥類のブレード、タワーへの接近・接触が生じる頻度は少ないものと評価したが、予測には不確実性も伴っているため、バードストライクの有無を確認する。	
その他特記事項		対象事業実施区域内に、既設風車6基がある。	
住民意見・事業者見解・自治体意見・環境大臣意見 (別紙参照)		環境の保全の見地からの意見： 件 (別紙のとおり)	
審査結果		環境審査顧問会風力部会の御意見を聞いたうえで、環境の保全について適正な配慮がなされることを確保するための意見を記載。	
備考		本審査書は事業者から届出された環境影響評価準備書を基に作成したものである。	